

**ダンスの贈り物で観客も元気に**

10月25日、地域交流センターで「第10回武内亮子エアロジャズチャリティー発表会」がありました。武内さん指導のエアロジャズ教室で練習したパフォーマンスを、福智のダンサーが仲間と一丸となって披露する晴れ舞台。子どもから大人までの32人の出演者が、約2時間にわたって個性豊かな表現で観客を魅了し、会場は大きな拍手と歓声に包まれていました。



↑観客を「珍島物語」の曲の世界へと引き込む水曜日クラスのメンバーと武内氏。

↓最高・最悪な図書館を生徒に問う設計チーム。みんなの率直な意見に思わず笑顔。



**中学生の企画で設計チームが来校**

中学生発のプロジェクトチーム「ふくトラ」メンバーの発案で、10月30日に赤池中学校で新しい図書館・歴史資料館の説明会がありました。中学生ならではの質問に少し戸惑いながらも、一つ一つ丁寧に受け答えをする設計者(o+h)や図書アドバイザーの花井裕一郎氏、鳥越美奈館長。全校生徒229人は新たなまちの拠点の画期的な構想に目を輝かせていました。

**福智町で県内の球児が熱戦を展開**

県内36チームが出場した「第4回福智町ウグイスカップ争奪学童軟式野球大会」が11月7日から14日にかけて町内4会場で行われました。福智からは「赤池ジュニアベアーズ」、「金田ジュニアクラブ」、「上野イーグルス」が出場し、赤池ジュニアベアーズが3位に入賞。進行やアナウンスなどの運営も子どもたちが行い、どのチームも最後まで一丸となって戦いました。



↑金田ジュニアクラブ井上康太郎くんが「最後まで全力でプレーします」と宣誓。

↓校庭で人権の花“ひまわり”の種と、メッセージをつけた風船を大空に飛ばす児童。



**思いやりの心でみんなを大切に**

弁城小学校3年生22人を対象に、田川人権擁護委員協議会主催の人権教室が11月10日に行われました。人権擁護委員10人は「まずは自分のことを大切に。そして家族や友達に思いやりの心を持って仲良く暮らしてほしい」と呼びかけ、手作り紙芝居などで「人権」について説明。命の大切さを学んだ子どもたちは最後にエコ風船を飛ばし、優しさの輪を広げました。

↓「秦淮に泊す(杜牧)」の吟詠で最優秀吟士権者を受賞した長谷川さんが、11月9日、嶋野町長を表敬訪問。



**熟練の大会で長年の夢を手に**

10月12日に福岡市で行われた九州・山形の熟練吟士が集う西日本吟詠吟士権大会。この大会で、福智町の長谷川京子さんが「最優秀吟士権者」に輝きました。この大会には九州5地区の予選を勝ち抜いた西日本吟士権者15人と、歴代吟士権者計82人が参加。出場者が日頃鍛えた自慢ののどを競う中、長谷川さんはわずか5回目の大会で最高賞の座に就きました。師匠の芦馬慶州氏が亡くなったことで30年のブランクを経て再挑戦。持ち味の高音で朗々と吟じ、「最後の挑戦」と決めた舞台で見事に努力の花が開きました。

**安全・安心な住みよい町を目指して**

11月1日、「福智町暴力等追放町民大会」が地域交流センターで開かれ、約200人が参加しました。暴力追放啓発DVDを上映後、「暴力等に屈しない町民として頑張ろう」「明るく元気な子どもを育てるために頑張ろう」と全員で唱和。暴力排除の機運を高めた後、暴力のない町づくりを町民に呼びかけるパレードを行い、参加者は明るい社会の実現へ決意を新たにしました。



↑今年は鞍手高校吹奏楽部31人が暴追パレードと一緒に盛り上げてくれました。

↓ポスト周囲で他の選手がボールの行方を見守り、互いに声を掛け合っていました。



**親睦を深めながらハツラツとショット**

「福智町グラウンドゴルフ大会」の決勝戦が11月1日に赤池町民グラウンドで開催され、各支部で勝ち抜いた上位30チームが腕を競いました。16コースに分かれ、掛け声と笛の合図で競技を開始。爽やかな風が吹く秋空の下、出場者は力強くボールを打ち、「ナイスショット」を連発していました。【結果】優勝:野添A 2位:野添E 3位:野添D 4位:西古門老人会A